

犬猫由来メチシリン耐性 *Staphylococcus intermedius* group の薬剤感受性

宮 本 忠[†] 石 井 遙

山口県 開業 (みやもと動物病院：〒753-0851 山口市黒川2265-8)

(2009年2月9日受付・2009年5月29日受理)

要 約

2007年1月から2009年2月までに当院に来院した犬28頭および猫7頭の病変材料からメチシリン耐性 *Staphylococcus intermedius* group (MRSIG) が分離された。MRSIG は皮膚から18例、皮下膿瘍から7例、眼分泌物から5例、尿から2例、耳垢、鼻汁および陰分泌物からそれぞれ1例分離された。35症例中33症例(94%)は過去に抗生物質の投与歴があった。分離されたMRSIGはクラバン酸・アモキシシリン、セファレキシンおよびセフジニルに対してすべて耐性で、ゲンタマイシンには80%が耐性、オフロキサシンには74%が耐性であった。いっぽう、MRSIGはドキシサイクリンにはすべて感受性で、クロラムフェニコールには46%が感受性、ホスホマイシンには34%が感受性であった。これら感受性のある薬剤を用いると91%の症例が治癒または改善したため、*in vivo*においてもこれら薬剤は有効であることが示唆された。——キーワード：薬剤感受性、メチシリン耐性、*Staphylococcus intermedius*。

----- 日獣会誌 62, 882~885 (2009)

[†] 連絡責任者：宮本 忠 (みやもと動物病院)

〒753-0851 山口市黒川2265-8

☎・FAX 083-932-4622 E-mail : miya629@c-able.ne.jp